（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式
1．初期支援（はじめのかかわり）

実施日	令和 4年 10月 19日 （19:00～21:00）
メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0	4	3	3	10

前回の改善計画

カンファレンスを毎週木曜日に計画的に実施するため、月間業務分担表に担当者を記録する。A勤務職員が事前に資料準備と進行を行う。D勤務職員がカンファレンス記録を行う。
カンファレンス内容は、新規の情報共有、ケアプラン内容確認、業務やサービス支援等の改善の提案。

前回の改善計画に対する取組み結果

行事や業務が天気などによる変更が多く、計画通り木曜日開催が出来ていない。カンファレンス実施方法を見直し、ミーティング内でほぼ毎日検討されている。ミーテイング内で検討された事がカンファレンスとする認識が今まで無かった為、検討内容がカンファレンス項目に記録されておらず再確認に繋がっていなかった。計画不備により再検討必要とする。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		10			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	8			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	9			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		10			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用開始前の情報、ニーズの共有、初期支援中の身体状況の把握と対応をミーテイング内で情報共有している。
・初めての利用で不慣れなことや、生活上の不安点に配慮した関わりができている。
・新規利用者へは特にコミュニケーションを多く取り、傾聴しながら不安や緊張を和らげる支援をしている。
・身体や生活の状態変化に合わせた支援内容の検討がミーテイング内でできている。
・本人、家族に声掛けし、体調、要望、困ったことなどを会話の中で聞き出そうとしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・新規利用者について、課題整理ができていないうちに新たな新規の方が入ってきて、意識がそちらに向いてしまい対応策保留になるケースがあり、後手にまわっている感じがある⇒初期支援でケアの提案したい場合は月間予定表にモニタリング期間（1W位）を設定して記入していきたい。
・サービス開始時、アセスメントやミーティングなどでサービス内容を共有しても自身の経験が不足しているため、どのようなサービス内容かを頭で考えながらおこなうため、すんなりとサービスができていない⇒ケアの疑問をミーテイング内で発信していく。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

新規利用の初期カンファレンスは、モニタリング期間（1W位）を設定して月間予定表に記載し実施する。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 10月 19日 （19:00～21:00）
2.「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	5	4		10

前回の改善計画

個別支援活動を利用者本人が行えるように色鉛筆など自由に手に取れる環境を整備する。

前回の改善計画に対する取組み結果

塗り絵、折り紙、広告でのごみ箱作りなど、利用者がいつでもできる様にテーブル環境できている。
制作活動専用テーブルを設けるなど、利用者が好きな時に活動できる環境を整えたが自主的に専用席で活動するまでには至っていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	2		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		9	1		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		6	4		10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		5	4	1	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者との会話、関わりの中で、「～したい」や思いを聞き取り、日頃の支援に役立てている。
・本人の希望することをコロナ禍の中ではあるが聞き取り、買い物、外出、ユーチューブ動画などで実践している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・やる気のある利用者に対しては個別対応をおこなえているが、特に男性利用者に無理に誘うことが良いことなのか躊躇ってしまい、働きかけが足りていないように思う。
・午前の利用者の過ごし方について、手芸や手仕事、楽しみの時間を計画して行えていない。⇒午前は入浴介助や訪問などで個別支援対応がし難い。午前に体操行って、午後は直ぐにレクに入れる様にしてはどうか？

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

午前は高齢者体操を行い、目を覚まして体を起こし一日が始まる支援。
午後は午前に体操を行っているので個別活動やレクレーションの活動時間が確保できる。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式
3．日常生活の支援

実施日	令和 4年 10月 19日 （19:00～21:00）
メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1	8	1		10

前回の改善計画

業務の分別（してはいけない事。しなければならない事。やりたい事。）を都度見直し、大切な業務をしっかりと行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

しなければならない事を検討し支援を行った。
優先順序をつけて業務にあたった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	4	3	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	8	1		10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	8			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	9			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・現住所、以前生活していた都道府県、家族構成などの情報を把握できている。
・本人の言動や体調変化にはケア記録などで職員間で共有するようにしている。積極的に他職員へ声掛けし情報共有している。
・本人の状況、思いに沿った介助、支援ができている。
・日々の関わりやコミュニケーションを通して、体調や気持ちの変化に気付いたら、情報を共有し対応している。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・エコマップの更新が出来ていないが、情報共有に必要と思った際は記入していく。
・今後予測しうることに対しての事前の検討が少ない⇒今後も心身、ケア状況を記録し、カンファレンス等で今後の予測検討が必要な際行っていく。
・基礎的ケアを皆で情報共有したいと思っているが、申し送りや他の時間でおこなうことが少ない。⇒移動、移乗、食事、排泄、入浴などの個別介護方法について、当職員が発信し皆でケア方法を実際にしてみて体で覚える。情報共有されるも、支援方法が全職員で統一されているとは限らない⇒個別の細かい介護については、職員の性別や身体、経験年数も違うため基本介助方法を理解していく。
・利用者との接し方がまだ浅いのか、気付きが少ない⇒申し送り時に職員より検討事項を発信する事が大切。

次回までの具体的な改善計画 （200字以内）

昼の申し送りの際に「検討事項」を設けて、援助内容や業務改善を話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 10月 19日 (19:00～21:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	5	3		10

前回の改善計画

本人家族の了承を頂き、近隣や民生委員の皆様へご挨拶と、事業所でサービス利用していることをお伝えする。地域からの相談や必要時の連携へと繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域支援が必要な独居の利用者には、近隣の方に挨拶と相談している。連携が必要な相談の際はすぐに市や包括へ情報提供している。
全利用者の担当民生委員や近隣への挨拶まではできていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	8			10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	6	3		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		5	5		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	7	1	1	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・事前情報としての生活歴などは把握できている。
・関わりの中で本人のこれまでのことを知り、家族とも情報共有することで情報が得られている。
・本人家族の要望や事業所の提案で地域資源の活用ができている。
・インフォーマル（介護保険制度を使用しない介護サービス）の把握と繋がりと理解ができている。
・送迎時やはつらつノートなどで自宅での生活や荘での様子をやりとりしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・自宅での生活状況の把握が不足していると感じる。帰宅後や利用のない日はどのように過ごしているのか、把握があまりできていない。自宅での過ごし方や、家族との関わりをわかっていないことがある⇒個人情報等については支援に必要な部分のみの把握とする。支援に必要でない情報をむやみに聞き取らない。聞き取りができた際は記録という形で残すこと。
・独居の方について、家族や知人が近くにいないケースは情報の把握がしきれない。独居の方の人間関係、民生委員や地域の資源情報が少ない。⇒家族からの了承の有無、近隣、民生委員とのアポイントが必要時のみ。コロナ禍のため地域交流会が開催できず担当民生委員の方々との出会いがなくなっているのも原因の1つ。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

申し送りで支援に必要な情報を確認し、家族へ聞き取り相談する。
近隣住民、民生委員、地域資源等から必要な情報を得たい場合は家族の了承を頂いてから動く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	4年　10月　19日　（19:00～2
メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

5. 多機能性ある柔軟な支援

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5	4	1		10

前回の改善計画

多機能職員が、本人の身体状況や家族からの随時の相談を受け判断して、通い・宿泊・訪問サービスの調整を行えるようになる。

前回の改善計画に対する取組み結果

・利用者、家族のニーズに合わせ、適切に利用の変更サービス対応ができている。
・対応職員から報告を受け、確認できている。訪問サービス変更時も、以前のように業務分担表の修正忘れがなくなっている。
・サービス変更の際に家族より理由を聞き、自宅生活での情報を共有する機会を得ている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	3	1		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	5			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	4	1		10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	5			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・市や地域包括支援との相談や、配食サービスや介護タクシー、自費訪問サービス等の必要な情報を本人、家族と行っている。
・本人の状況に変化があった際は、必要に応じ話し合いをおこないサービスの調整をすることができている。
・記録、ミーティングなどで本人の変化に気付き、柔軟な支援ができている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域資源を把握していないため地域資源を使った支援ができていない⇒地域資源を活用することの意味を知る。今まで生活してきた馴染みの場所で、本人の力が継続して発揮できる支援を行う。
・家族より急な宿泊希望が聞かれた際、自宅に居る事が困難である理由を尋ねるなど、踏み込んで考えることが不足しているように思う⇒本人が家族不在時に独居できる力があるのか（本人の力を発揮させる為の支援）、家族の心情やレスパイトケア（介護負担への支援）、自宅での生活の情報など共有できる機会。
・ケア記録の不足、ミーティング時の声出しの不足、事後に情報が出て来てしまうなど後手にまわる。

次回までの具体的な改善計画

（200字以内）

多機能職員は、家族からサービス利用の相談を受けた際は、理由を聞き取り確認して（コロナ対策：県外の行き来など）通い・宿泊・訪問のサービス調整が出来る。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 4年 10月 19日 （19:00～21:00）
メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

6. 連携・協働

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	4	2	1	10

前回の改善計画

コロナ禍の状況を判断しながら、多機能職員がサービス担当者会議、運営推進会議へ参加をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・サービス担当者会議へは業務状況を確認しながら担当ケアマネ、看護師、ケアワーカーが参加している。
・コロナ禍のため運営推進委員会議は文書回覧となっている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	7	1	1	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	1	4	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		5	2	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	1	8	10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・徐々にコロナ禍での対応も緩和傾向にあり、状況に合わせ会議やZOOMを使用した研修などがおこなわれてきている。
・松陵地区大運動会へ参加している。
・地域住民の受け入れを想定した合同での非常災害訓練にZoomで参加。
・地域のコミセン文化展には、出品といった形で毎年参加している。今年度も感染状況を確認し少人数で感染対策を行いながら参加予定。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・個人では運営推進会議やサービス担当者会議に参加する機会がなかった。
・各種機関、団体の活動やイベントへの参加ができていない⇒コロナ禍で感染状況、参加人数を確認しながら慎重に参加している。
・荘内への地域住民の来訪はできていない⇒例年実施していた高校家庭部ボランテイアや、バンド演奏、マジックの会などコロナ禍により他者を招き入れることは難しい状況であった。しかし、三年ぶりの酒田祭りの商工会議所の木遣りや、地区の文化祭への参加も実施。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

コロナ禍の状況確認しながら、運営推進会議やサービス担当者会議にケアワーカーが参加してサービスについて現場の話ができる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 10月 19日 (19:00～21:00)
7. 運営	メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3	6	1	0	10

前回の改善計画

窓口へ相談に来る方へ「利用案内・利用手引き・多機能通信」等書類を、すぐに手渡して説明できる環境を整備していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・パンフレットなどを窓口に置いておき、すぐに提供できるようにしている。玄関窓口に案内資料を置いて、適時来荘の方へ多機能サービスについて説明しながら資料を渡している。
・来荘者への相談について、現場職員個人個人でも対応できる人できない人がいると思う。
・書類置き場を吊り下げ対応へ変更している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	6	2		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	7			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	5	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		5	5		10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者、家族からの意見や苦情があった場合は、職員間で検討し改善に努めている。
利用者、家族より頂いた意見を、ミーティング内で検討しながら対応している。
・運営推進委員会議による意見が運営に反映されている。
・自治会の資源回収に紙資源を出している。
・松陵地区大運動会へ参加している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・相談や意見を求められたら、的確な返答ができる自信がない。⇒経験を積んで対応方法を理解していく。
・地域との協働した取り組みを考えていくのが難しい。⇒光ヶ丘2丁目自治会より資源ゴミの回収日程の連絡があり協同できている。コロナ発生状況確認をしながら、生活圏のコミュニティセンターで開催する行事に参加できるよう、本人、家族へ情報を伝えながらおこなっていきたい。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

多機能職員が自事業所の運営へ参加ができるようになる。
窓口へ相談に来る方へ「利用案内・利用手引き・多機能通信」等書類を見ながら説明できる。

（別紙2－2）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 10月 19日 (19:00～21:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？		3	2	5	10

前回の改善計画

「多機能かたばみ荘発表会」を計画して組織全体のスキルアップに繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・発表会は、今年度内の実施で予定している。
・毎日のレクリェーションで、職員個人個人のプレゼンテーション力が少しずつではあるが向上している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		8	1	1	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3	4	10
③	地域連絡会に参加していますか					
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		9	1		10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

避難訓練、コロナ発生訓練、急変時対応、他事業所でのコロナ発生時対応研修、交通安全など、法人全体、事業所内での研修を実施している。
・地域連絡会は当地区にはない。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・リスクマネジメントに関して、急変時の対応が知識不足で不安との意見があるため、対応研修を今後も計画実施する必要性あり。
・研修、訓練に参加し、事業所内への情報伝達の機会が少ない⇒事業所内で伝達研修を持つこと。
・申し込んだが、今回は通らなかったため。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

緊急時対応の流れ（リスクマネジメント、災害対策と発生時、感染症対策と発生時、）を再確認する機会をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 10月 19日 （19:00～21:00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	佐藤千代樹、村上意知朗、伊藤義則　佐藤美紀、相蘇亮、荒生稲子、阿部由佳、阿部ゆかり、高橋英子

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6	3	1		10

前回の改善計画

日頃から自身に置き換えて利用者への支援を行っていく。
申し送り内で改めて「尊厳、プライバシー、虐待と拘束」について共有をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

虐待拘束は無いが、何気ない言葉で利用者を止めてしまっていないか、その行為が拘束に当てはまっていないか、都度職場内で検討していきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	1			10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	8	2			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	5	1	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	3			10

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・尊厳、プライバシーを守り、虐待、拘束はしていない。
・利用者の人権を尊重し、プライバシー保護にも配慮し支援をおこなっている。
・支援方法、接し方、話し方を都度必要時、申し送り内で個別相談している。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・捉え方によっては虐待、拘束といった対応、ケアについての検討不足、対個人的指導で完結し、事業所全体の問題としてミーティング時に共有されていないと感じる。
・機会がなかったため成年後見制度を活用していない。必要な利用者が現在いないため。
・個人情報、貴重品の取り扱い、メールの誤送信、私物取り違え、私物返却忘れ、はつらつノート次回利用日の間違いなど、個人情報の漏洩に繋がるミスが多くある。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

「ひやりはっと」は、事故や個人情報漏洩、虐待と拘束を未然に防ぐ予防となるため、自らどんどん発信し事業所内で前向きに検討する。